

行政評価市民評価ヒアリングについて

(1) ヒアリング資料について

各事業のヒアリング資料を事前に配付します。(2頁参照)

(2) ヒアリングのタイムスケジュール

9:00 ~ 9:05	事務連絡
9:05 ~ 9:35	ヒアリング①
9:35 ~ 10:05	ヒアリング②
10:05 ~ 10:35	ヒアリング③
(5分休憩)	
10:40 ~ 11:10	ヒアリング④
11:10 ~ 11:40	ヒアリング⑤
11:40 ~ 12:00	委員による全体協議

➤ヒアリングの時間は、1事業30分を予定

○所管部課によるヒアリング対象事業の内容説明 10分程度

○質疑応答 20分程度

➤ヒアリング終了後、委員間の意見交換の時間(全体協議)を20分予定

(3) 各委員の評価について

委員は、ヒアリング終了後概ね1週間程度を期限とし、事業ごとに、3頁の「下野市行政評価市民評価シート【提出用】」を事務局まで提出します。

➤市民評価シートの記入方法について

①ヒアリングを実施した事業における必要性・有効性・効率性について、4頁の評価基準を参考に、委員の評価をA・B・Cの中からひとつ選択してください。

※行政評価では、合致する要件数等により判定しておりますが、市民評価では、
 ≪A=高・B=中・C=低≫で評価してください。

②最終評価では、行政評価と①の委員評価を比較し、行政評価の妥当性について、次の中からひとつ選択してください。

○妥当である

○おおむね妥当である

○やや妥当ではない(行政評価が高すぎるため)

○やや妥当ではない(行政評価が低すぎるため)

○妥当ではない(行政評価が高すぎるため)

○妥当ではない(行政評価が低すぎるため)

③評価コメントとして、評価理由の詳細やより効果的・効率的な改善策等の提言について記入してください。

(4) 行政評価市民評価報告書について

各委員の評価を取りまとめ、委員会協議により、事業ごとに委員会としての市民評価判定を決定します。評価内容として、市民評価判定に沿った評価コメントを整理し、また、その他の評価コメントは個別意見として報告書に掲載します。

令和元年度 下野市行政評価市民評価 ヒアリング資料

事務事業
番号

事務事業名						所管部課					
事業目的	シートの左側には、事務事業の実施内容が記載されます。										
事業概要	ヒアリング時、事業の内容について、担当課長等が説明いたします。										
総合計画での位置付け	施策	重点事業区分				類型区分	I (積極的推進)				
事業区分	新規・継続	継続	事業の種類	ソフト事業		市裁量の有無	裁量なし(一部あり)				
根拠法令等											
補助団体	—										
年度別	事業計画	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度					
	事業費		千円	千円	千円	千円					
事業内容	対象年度(令和2)	事業費内訳 > 令和2年度事業費内訳と財源についての詳しい説明等 (その他、ハード事業の場合は、完成までの期間(年度)及び全体事業費と内訳について)									
	財源	国県支出金	地方債・その他	一般財源	千円	千円	千円				
その他(過年度実績・特筆すべき点等)	> 過年度実績として、実施回数や利用・参加者数などの実績数や実施内容の詳細等 > 今後の展開や他事業との連携、事業費に変化がある場合の理由等										

事業推進方針判断に際しての3つの視点				
必要性	A	○	全て	要件(3項目)
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済情勢の変化や市民ニーズ等に適合する <input checked="" type="checkbox"/> 公共関与の妥当性がある <input checked="" type="checkbox"/> 第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性がある
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
シートの右側には、左側の事務事業の実施内容から3つの視点(必要性・有効性・効率性)による市の推進方針の判断内容が記載されます。				
有効性	A	○	全て	要件(3項目)
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービスの維持・向上に寄与する <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能なまちづくりに寄与し、地方創生の推進等につながる <input checked="" type="checkbox"/> 総合計画の上位施策の目標達成に貢献し、意図する結果につながる
	C		なし	市裁量がない事業(⇒A評価とする)
効率性	A	○	3以上	ソフト事業(要件:6項目) ハード事業(要件:3項目) <input checked="" type="checkbox"/> 事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法を見直す 補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している
	B		1以上	<input checked="" type="checkbox"/> 同種・同目的事業との統合や簡略化を実施する 事業目的に見合う最適な事業規模である <input checked="" type="checkbox"/> 民間委託を実施する 他事業との重複がない <input checked="" type="checkbox"/> 受益機会・費用負担割合等が公平公正であり適正である
	C		なし	<input checked="" type="checkbox"/> 市民(団体)協働や連携により事業を実施する 管理業務等において、現在の取組手法から、さらに効率性を図ることは困難である

総合評価

○	継続実施
	見直し実施
	廃止

下野市行政評価市民評価シート【提出用】

委員氏名	
------	--

事務事業名	○○○○○○○○○○事業	所管部課	○○○○部 ○○○○課				
行政評価	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; padding: 2px;">類型区分 Ⅱ</td> <td style="width: 15%; padding: 2px;">必要性 A</td> <td style="width: 15%; padding: 2px;">有効性 A</td> <td style="width: 15%; padding: 2px;">効率性 A</td> </tr> </table>	類型区分 Ⅱ	必要性 A	有効性 A	効率性 A	⇒ 総合評価【継続実施】	
類型区分 Ⅱ	必要性 A	有効性 A	効率性 A				

委員評価記入欄				
必要性		A	<input checked="" type="checkbox"/>	
		B	<input type="checkbox"/>	
		C	<input type="checkbox"/>	
有効性		A	<input type="checkbox"/>	
		B	<input checked="" type="checkbox"/>	
		C	<input type="checkbox"/>	
効率性		A	<input type="checkbox"/>	
		B	<input checked="" type="checkbox"/>	
		C	<input type="checkbox"/>	
最終評価	行政評価について	妥当である	<input type="checkbox"/>	
		おおむね妥当である	<input type="checkbox"/>	
		やや妥当ではない	行政評価が高すぎるため	<input checked="" type="checkbox"/>
			行政評価が低すぎるため	<input type="checkbox"/>
		妥当ではない	行政評価が高すぎるため	<input type="checkbox"/>
			行政評価が低すぎるため	<input type="checkbox"/>
評価コメント （評価理由の詳細、より効果的・効率的な改善策等の提言等）				

必要性・有効性・効率性における評価基準について

必要性	評価	内部評価の基準		<p>(市民評価の主な視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業の目的から見て、公共が関与する必要があるかどうか。 ●社会経済情勢の変化を踏まえて、事業の目的等が合致しているか。 ●市民ニーズの変化等に対応できているか。
	A	要件3項目のすべてに合致、または、市裁量がない事業		
	B	要件1項目以上に合致		
	C	要件合致なし		
要件	要件	要件①	社会経済情勢の変化や市民ニーズ等に適合する。	
		要件②	公共関与の妥当性がある。	
		要件③	第二次下野市総合計画の施策体系と事業目的に整合性がある。	
		市裁量がない事業 (⇒A評価とする)		
有効性	評価	内部評価の基準		<p>(市民評価の主な視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●廃止した場合に市民サービス等に大きなデメリットが生じるか。 ●目的とする結果につながるものであるか。 ●事業を計画どおりに進める環境が整っているか。
	A	要件3項目のすべてに合致、または、市裁量がない事業		
	B	要件1項目以上に合致		
	C	要件合致なし		
要件	要件	要件①	市民サービスの維持・向上に寄与する。	
		要件②	持続可能なまちづくりに寄与し、地方創生の推進等につながる。	
		要件③	総合計画の上位施策の目標達成に貢献し、意図する結果につながる。	
		市裁量がない事業 (⇒A評価とする)		
効率性	評価	内部評価の基準		<p>(市民評価の主な視点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●事業費や事業量に見合った効果・実績が得られているか。 ●類似事業との統合・連携が検討されているか。 ●民間活力の導入や事務処理の改善等が検討されているか。 ●受益者負担、手数料・使用料等は適正か。
	A	要件3項目以上に合致		
	B	要件1項目以上に合致		
	C	要件合致なし		
要件	ソフト事業	要件①	事業の質を維持しつつ、事業費の削減や取組方法の見直しをする。	
		要件②	同種・同目的事業との統合や簡略化を実施する。	
		要件③	民間委託を実施する。	
		要件④	受益機会・費用負担割合等が公平公正であり適正である。	
		要件⑤	市民(団体)協働や連携により事業を実施する。	
		要件⑥	管理業務等において、現在の取組手法から、さらに効率性を図ることは困難である。	
	ハード事業	要件①	補助金等の積極的な活用で最大の成果となる方法を選択している	
		要件②	事業目的に見合う最適な事業規模である	
		要件③	他事業との重複がない	